

核兵器のない平和な社会めざし



発行：日本共産党
伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
ホームページ
「JCP上伊那」



平和のつどいや行動を展開

71回目を迎えた広島原爆の日の8月6日から9日にかけて、伊那市内で平和を願った式典や音楽会、映画会と核兵器廃絶の署名行動などがおこなわれました。

原爆犠牲者を追悼

6日午前8時、原爆の火が灯る丸山公園で伊那市民平和祈念式典が開かれました。非核平和都市宣言をさらにすすめる伊那市民の会の主催で30回目のつどいに70人余が参列し、過ちを再び繰り返さないよう恒久平和を願いました。

広島原爆投下の8時15分、常



平和の塔に献花する参加者

円寺の鎮魂の鐘に合わせ黙祷、その後、原爆の火の平和の塔に献花し犠牲者を追悼しました。

被爆者で同会初代表の故川本浩一さんの孫の大地さん(29・西春近)が「日本の原発をはじめ、世界に核が広がっている。子どもたちに平和な世界を残さなくては」と挨拶しました。

同会の建石繁明代表は「人類と核兵器は共存できないことは、誰でも分かっているが廃絶されない。更に多くの皆さんと運動をしていきたい」と呼びかけました。

恒久平和願い 市民の会が灯ろう流し

8月7日夜、非核平和都市宣言をさらにすすめる伊那市民の会は、市役所横のせせらぎ水路で灯ろう

流しをしました。参加者は「戦争ができませんように」「友だちや家族が幸せに過ごせますように」などと書いた灯ろうを水辺に浮かべ見送っていました。



灯ろうを流して平和を願う子どもたち

逃げた関東軍

— 映画を観て —

8月7日、伊那公民館で映画「ソ満国境15歳の夏」を観ました。

15歳の子も達が、国策で満州に駆り出され、ソ連の参戦で日本が窮地に立った時、国民を守るべき関東軍は日本人を置き去りにして逃げてしまったこと。教育やくらし全てが「ススメ戦争」一色の中、村長が国策に反対し、満州に子ども等を出さなかつたことを知り驚きもし、感動もしました。戦争は絶対だめ。多くの人は是非観てほしい映画です。

(東春近 井上里美)

地 蜂

この夏は15歳の少年少女の悲劇を聞く機会が多かった。映画「いのちありて」を鑑賞後、図書館で原作の本を借りた。伊那高女の4

年生が学徒動員され名古屋でゼロ戦の製造にあたった。空襲が始まり守衛の制止を振り払った先生の機転で寮に逃げた。トラックに焦げた木が積んであると思ったら黒こげの死体だった。空襲で級友が死亡し、校長は「生徒が殺される処へはやらぬ」と全員伊那へ帰還させ生徒を守った▼宮田村の清水英男さん(85)は関東軍防疫給水部(731部隊)の少年兵で動物実験に従事していたが、標本室で人体標本を見せられた。ソ連参戦で人体実験の証拠の骨を拾わされた。上官の命令で731部隊にいたことは家族にも話さず、今夏初めて体験を語った▼市民平和映画会の「15歳の夏」はソ連との国境近くに勤労働員されたがソ連参戦で国境に取り残された中学生の実話。捕虜となって開放されてから中国の貧しい農民たちに救われた▼広島市の平和大通り建設には高女生徒も動員されたと作家の関千枝子さん。自分が休んだ日に原爆投下、同級生38人が2週間以内で亡くなった(8/7付赤旗日曜版)▼戦時中を語る世代が若い、少なくなつた今、当時10代半ばの世代が声を上げた。絶対戦争をしてはいけないと、戦争法は廃止せよ。(E・K)

核廃絶を歌に込め

「ぎざむし」が平和音楽会



8月7日、うたごえサークル「ぎざむし」が7回目の平和音楽会をいなっせで開きました。広島と長崎に原爆が落とされたこの時期に、毎年、開催してきたものです。

核兵器廃絶に向け、第一部では

賛同団体とぎざむしがアルプホルンやアコーディオンなどの演奏と合唱を披露。また、医療生協職員の音楽サークル「たまたまて箱」が、命を育む自然や大地への感謝と平和への願いを込めた曲を歌いました。



合唱と語りによる構成組曲「平和の旅へ」を披露する団員のみなさん

また、二部では構成組曲「平和の旅へ」に約40人が出演。被爆し核兵器廃絶を訴え続けてきた渡辺千恵子さん（故人）の半生を、合唱と語りで伝えました。220人の参加者は、演奏や合唱に平和への思いを共有していました。

核兵器廃絶の

国際署名集め

新婦人伊那支部

8月9日午前、新日本婦人の会伊那支部は、グリーンファーム前で「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」集めに取り組みました。

オバマ大統領が、アメリカの大統領として初めて広島を訪れたことと夏休み中でもあり、関東や岐阜方面から来た人などが、関心を持って、次々と署名に応じ、短時間で53筆集まりました。

被爆者が訴える署名は初めてで、高齢化と核開発競争が止まらないことへの強い思いが込められているものです。

戦争法廃止へ―九条の会8月のとりくみ―

9条の会などは、戦争法廃止に向け、毎月3の日に「アベ政治を許さない」スタンディング、19日は「戦争法を強行した9月19日に合わせた抗議行動」、ニュース発行などに取り組んでいます。各九条の会の8月の取り組みについて紹介します。

手良

3日午後1時、中坪公民館前でスタンディング。26日「日本国憲法の誕生」の講演会開催。

高遠町

19日、三峰川橋たもとでスタンディング。21日、虹の市に出店。9月10日平和の集い。映画上映（4面の催し案内参照）

西箕輪

19日朝、大萱交差点でスタンディング。9月4日西箕輪公民館で「いのちありて」上映会を予定。

美篁

「戦争体験を語る」パンフを普及、累計230部に。3日と19日、竜東橋北交差点スタンディングに取り組みました。

東春近

3日と19日の朝、竜東橋たもとでスタンディング。24日夜「ご苦労さん会」など。

青年

毎週木曜日朝、大萱交差点で宣伝・スタンディングに。9月4日、



8月3日竜東橋のたもとでのスタンディング（東春近九条の会）

ご案内 第4回千両千両 **井月さんまつり**
 9月3日（土）昼・シンポジウム 夜・映画と尺八演奏
 4日（日）信州伊那井月俳句大会（いなっせ6階ホール）

主催：実行委員会
 伊那市・市教委

問い合わせ先 矢島信之（080-2254-1937） 市川富士雄（73-2928）

これが私の生きる道

民商が第4回商工フェア

上伊那民主商工会は8月21日、いなつせ北側広場といなつせ屋内施設で、商工フェアをくり広げました。さまざまな業種の青年部員らが中心になって取り組んだもので、自分たちの仕事をアピールしながら商店街も賑やかにしようと毎年取り組んでいるものです。

包丁砥ぎやぬり壁、餅つき、茶道の体験、木工教室など14種の体験コーナーと焼きそば、軽食、農産物の販売、「何でも相談コーナー」と仕事のかたち展、原爆・ネル展、健康チェック等に家族連れや若者のグループなど多くの参加者が訪れました。



顔をはめればすぐ職人さんに。
楽しい顔はめボードも (商工フェア)



Mさんの話

先日、長い間一緒に医療生協の運動や後援会でお世話になったMさんが亡くなられました。急な病気でということでした。

医療生協への加入訴えなど地元でいつも頑張っていました。それなのに、自分では「まだい

参院選お疲れさん会

8月5日、民主会館で「参院選

柳川ひろみ

い」と介護保険の利用は断っていました。

介護保険制度は契約ですので、本人が利用するという意思を示さないとい介護は受けられません。介護認定されたとしても、福祉が契約となった弊害ではないかと思えます。もう少し何かできなかったのかと残念に思う毎日です。



8/5 民主会館での「参院選お疲れさん会」。生ビールで乾杯する参加者

第39回赤旗
信州秋まつり
10月9日(日)
午前9時～午後4時
やまびこドーム
(松本市)
参加協力券
大人 1200円
高校/大学 600円

お疲れさん会」が開かれました。杉尾さんと武田さんの当選を喜び合い、飲みながら、食べながらの中で、史上初の野党統一で、他党の候補も支持して戦った経験を交流しながら、成果や課題も話し合われ、この力を広げ、次の総選挙でも勝利しようと思いを固めました。

また、東春近や西箕輪などの党ファンクラブは、7月中旬に「お疲れさん会」や「祝勝会」を開き、選挙の労をねぎらいながら、次の総選挙への決意を高めていました。



上の原 中村 光莉

住では、全くのバラックで雨漏りは当たり前、夜には屋根の穴から星が見え、吹雪になれば枕元に雪が積もっていました。隙間だらけで部屋が暖まらないので、もっぱら炬燵と湯たんぽの生活。屋根から集める雨水が命の水。「五木の子守歌」の歌詞そのもので「水は天からもらい水」という生活でした。

それでも、電気の導入は上伊那開拓地の中では比較的早く、1948年(昭23)11月のことでした。飛行機時代に電気を引いた木製の電柱が、今の県営球場の辺りから何本も残っていたので、再架線して実現し、石油ランプの生活に別れを告げました。これでやっと、ラジオが聞けるようになったのです。暗い裸電球の下で、宮田輝アナ司会の「三つの歌」とか、落語・浪曲を聞いたことを覚えています。

テレビが入るようになったのは、それからさらに15年ぐら以後、東京でオリンピックが開かれた1964年(昭39)前後からです。折しも、南米大陸初のオリンピックがリオデジャネイロで開催されていますが、視聴する環境は、今とは全く異なっていました。52年前の上の原には、テレビのある家が2、3軒しか無く、厚意に甘えて、毎晩、近所の家まで見に行つたものでした。隔世の感とは、こういうことでしょうか。

随想

夫の活動を支えて50余年(上)

西春近 赤沢美佐子(79)

私は昭和12年、宮田村中越の農家に10人兄妹の末っ子として生まれました。当時、米はほとんど供出していたので、農家なのに食べものにも事欠く貧しい暮らしでした。田んぼのボタの草をとって雑炊にして食べたり、干し柿にした後の柿の皮をおやつにして食べたりしていました。そのせいか、食べるものを粗末にできない性分が身につき、今でも「もったいない」が口癖になっています。

戦争中、小学校の校庭の隅に防空壕が掘られていたり、さつまいがが植えられていたのを覚えています。6人の兄たちが戦争に行きましたが、幸い一人も死なずに全員無事で戻ってきました。

昭和36年に赤沢家に嫁いできました。夫(*故赤沢三郎さん・本紙640号に登場)は、昭和19年に14歳で志願して軍隊に入ったけれど、1年足らずで終戦となり戦地にはいかずに済んだそうです。戦後、伊那北高校、中央大学と進みましたが、長兄が病死をしたため、やむなく中途退学して家業の農業を継いでいました。その頃すでに、宮田村の馬場長司さん(故人、戦前からの活動家)らと活動をしてきたようですが、多分上京中に共産党を知ったのではないかと思えます。親は猛反対でしたが、意志は変えな

かったようです。(談・続く)



催し案内

☆日本共産党創立94周年記念レセプション

8月28日(日) 午後3時~5時
JAフラワーパレス(3階ホール)
参加費 2000円

(飲酒される方はお車でのご参加はご遠慮ください)
主催:共産党上伊那地区委員会(72-2465)

☆伊那谷の戦争から子どもたちの未来を考える「いのちありて」上映会

9月4日(日) 午後1時30分~3時20分
西箕輪公民館 第3・4会議室
参加無料、主催:西箕輪九条の会
(74-1255 荒)

☆いま 憲法があぶない!! 集団的自衛権と改憲論議の講演会

9月4日(日) 午後2時~3時
講師:木島日出夫弁護士 伊那公民館
参加無料 主催:国民救援会上伊那支部

☆第2回高遠町平和の集い ドキュメンタリー映画「9条を抱きしめて」上映

9月10日(土) 午後1時半~4時
高遠町文化センター視聴覚室
参加資料代300円。主催:高遠町9条の会
問い合わせ94-3594(大場)

☆生協ケアセンターいなまつり

9月11日(日) 午前10時~午後1時半(仮)
生協総合ケアセンターいな
伊那市狐島3895
問い合わせ77-0235

風物詩

白毛もち米の稲穂



白毛もち米は稲穂の白い毛(ノギ)と長い草丈(約1.5m)が特徴の古代米の在来種で、コシの強さとねばり、あまみなど美味さは天下一品。倒れやすく収量が少ないので、次第に作られなくなり、現在は上伊那農民組合とわずかな農家が作り続けている貴重なもち米です。

写真・文 渡辺

☆「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時~6時半
いなっせ北側広場
主催 さよなら原発上伊那の会
連絡先 医療生協組合員センター
(79-8702)